

骨髄穿刺を受けられる患者さんへ

患者氏名：

担当医：

担当看護師：

項目	月日		検査中		検査後	帰宅後	検査翌日
	検査当日	検査前					
達成目標	・心身ともに安定した状態で骨髄検査を受けることができる				・安静に過ごすことができる		・傷口の確認ができる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置	・腹ばいの場合は、腰の骨が見えやすいように、衣服を腰下まで下げます	①針を刺す部分を消毒します ②腰に清潔なシーツをかぶせます ③局所麻酔をします。少し痛いですが、動く危険ですので我慢せずにいたい時は口に出して教えてください ④骨に針を刺して細胞を採取します。腰を引っ張られる感覚があります。痛みやしびれがある時はすぐに教えてください ⑤針を抜き、ガーゼで圧迫します ⑥テープで強く圧迫します ⑦必要時、骨生検を行うことがあります		・約1時間安静にします ・その後止血を確認します ・圧迫しているテープはそのまま貼っておきます	・穿刺部からの出血がないことを確認して帰宅します	・入浴やシャワー後を目安に、傷の消毒をして絆創膏に貼り換えます 【消毒方法】 ①昨日の絆創膏をはがす ②傷口から出血していないこと、傷口が腫れていないことを確認する ③消毒液で消毒する ④消毒液が乾いたら、絆創膏を貼る 自分で行う場合は、鏡をみながら行うとやりやすいです	
検査	・事前に採血を行う場合があります ・血小板の輸血を行う場合があります						
活動・安静度	・ベッドにうつ伏せに寝ます	・検査中は動かないようにしてください		・約1時間仰向けで安静にし、刺した部位を圧迫するようにします	・激しい運動はお控えください	・特に制限はありません	
食事	・通常の食事ができます					・出血の可能性があるため、飲酒や刺激の強い食べ物（香辛料など）は控えてください	・通常の食事ができます
清潔						・シャワー浴も入浴もできません	・穿刺部からの出血がなければ入浴できます
排泄	・検査前に必ずトイレをお済ませください				・安静中にトイレに行きたくなった場合は、ナースコールで看護師にお知らせください。車椅子で移動します	・特に制限はありません	・特に制限はありません
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・検査の所要時間は約30分です 		・痛みやしびれがある場合にはすぐに教えてください		 	・夜9時を目安に、圧迫している沈子を外してください。絆創膏はそのままにしておいてください 	・傷口を強くこすらないで下さい ・血がしわしわ出る時や傷口がじくじくしている時、我慢できない痛みがある時は、ご連絡下さい 平日時間内：内科外来 0985-85-9883 時間外：5階東病棟 0985-85-1789

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院